

広島県東部周辺の活断層

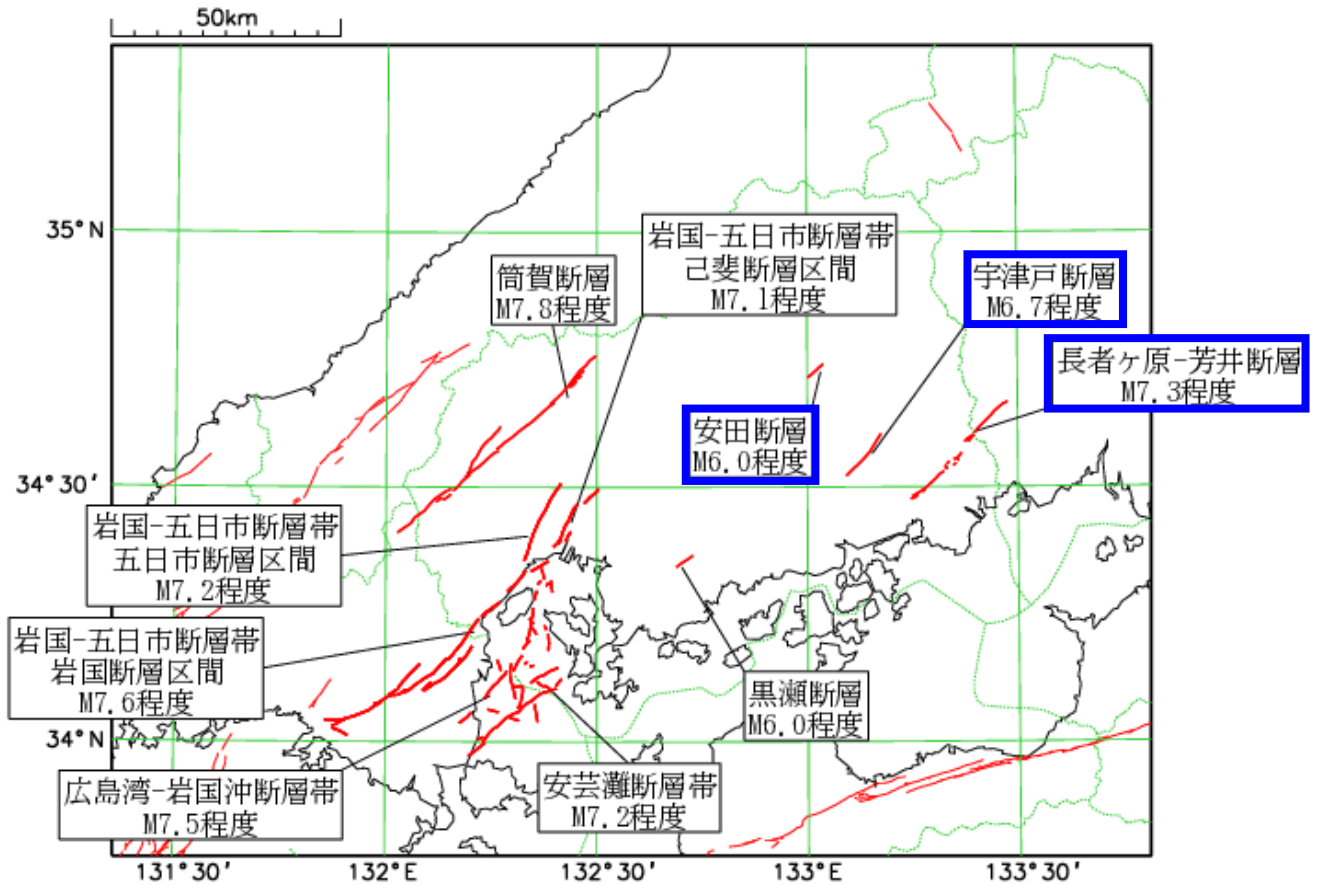


図 広島県周辺の活断層分布図

活動区間・活動規模M（マグニチュード）は地震調査推進本部の評価による
（図中の細線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す）

活断層：宇津戸断層
地震の規模：M6.7程度
地震発生確率（30年以内）：不明 Xランク
平均活動間隔：不明
最新活動時期：不明

活断層：長者ヶ原-芳井断層
地震の規模：M7.3程度
地震発生確率（30年以内）：不明 Xランク
平均活動間隔：不明
最新活動時期：不明

活断層：安田断層
地震の規模：M6.0程度
地震発生確率（30年以内）：不明 Xランク
平均活動間隔：不明
最新活動時期：不明

○地震発生確率が一般・自治体の方々には分かりにくいこと、または、低く捉えられるおそれがあることから、活断層のリスクを正しく理解していただき、適切な防災・減災行動につながるように、長期評価の広報資料に確率に基づくランク分けを導入しています。活断層で発生する地震については、今後30年以内の地震発生確率が3%以上を「Sランク」、0.1~3%未満を「Aランク」、0.1%未満を「Zランク」、不明（すぐに地震が起きることが否定できない）を「Xランク」と表記しています。